



たかまつし
香川県高松市

コミュニティ部門

6次産業化



おおのまめぶろじえくと

No.10 大野豆プロジェクト

～「大野豆」復活とその次代への継承活動～



香川第一中学校生が給食用空豆の皮むき



大野小5年生児童の「大野豆」収穫作業

経緯

- 絶滅危惧種の讃岐筴空豆(通称「大野豆」)の生産復活を願う有志35名により、休耕田を活用した地域活性化、地産地消や環境保全活動に寄与すべく、大豆・黒豆・小豆・一寸空豆を加えた豆栽培を開始。

取組内容

- 休耕田を活用して夏は大豆・黒豆・小豆、冬は空豆を生産し、年間約1.5tの販売を行っている。
- 休耕田約50aから始まって、約70aに拡大。
- 収穫物は豆菓子に加工されている。
- 小中高生の環境学習として、豆栽培作業、豆加工品作りから販売、大野地域での栽培の歴史等の学習を実施している。

活動の効果

- (有)筒井製菓の豆菓子製造ラインにおいて、国産品の豆菓子製造が復活した。
- 小中高生への総合学習は地域を知り、プロジェクト活動を地域に広げる核となっている。
- 平成27&28年かがわ農商工連携ファンド事業における6次産業化代表事例に選ばれる。